

月例発信 《外国人介護人材の明日を創る》

テーマ:

技能実習制度の有効活用と今後の展望について

参議院議員

片山さつき



1959年さいたま市生まれ(牡牛座O型)

東京大学法学部卒、大蔵省(現・財務省)入省後23年間で広島・海田税務署長、G7サミット代表団員金融機関監督管理職、横浜税関総務部長、主計局主計官等女性初のポストを歴任。

2005年小泉総理のお声がかかりで静岡7区(浜松・湖西)で選挙区当選し、一期四年で経産政務官、広広報局長等を歴任。2010年7月参議院比例区自民党トップ当選(30万票)

副幹事長、総務政務官、予算委員、環境部会長、外交防衛委員、総務副会長等歴任、国家基本問題・地方創生・金融・エネルギー環境・リサイクル等多くの役職を務める。

2016年7月、約40万票で再選(女性で1位、自民党現職で1位)

自民党政調会長代理、参議院政審会長代理就任2017年8月留任し、人生100年時代戦略本部一億総活躍推進本部・地方創生本部副本部長も兼任、再生エネルギー普及拡大委員長は3年目。

自動車・運輸、商店街・中小企業、行政書士、公認会計士、税理士、弁理士、宅建、不動産鑑定士、柔道整復師、鍼灸師等多くの分野の推薦議員であり、議連の役員。

片山さつき事務所
(東京)〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館420号室TEL: 03-6550-0420
FAX: 03-6551-0420

外国人介護人材研究会は、片山さつき参議院議員のイニシアティブで設立されました「日越介護人材育成研究会」との強い連携のもと、会員の皆様に政府の最新情報もお伝えしてまいりたいと考えております。そこで今号では、片山さつき参議院議員にご挨拶と現在の国の取り組みをご寄稿願いました。今後とも常時連携を取りながら、様々な発信に努めてまいります。

外国人介護人材研究会 共同代表(元衆議院議員)
熊田篤嗣

外国人介護人材研究会様、ご発足おめでとうございます。

要介護者数は608万人、介護従事者数は183万人で(H27年度)、介護職員は2020年には約25万人不足し、国内の介護人材確保対策に加えて外国人材の活用が必要です。

こうした状況を踏まえ、2016年12月22日、ベトナムのダオ・ゴック・ズン労働・傷病兵・社会問題省大臣が訪日された機会に、片山さつきのイニシアティブのもと「日越介護人材育成研究会」が立ち上げられました。その後何回か、「片山さつきと語る政策懇談会・勉強会」を開催して情報交換や政策提言を行い、厚生労働省、法務省、前ベトナム大使及び東京や関東の行政書士会等と連携を取りながら、外国人介護人材の受け入れに尽力しております。

技能実習制度の下での介護人材の受け入れにあたっては、しっかりとした体制作りが重要です。実習実施者の下で最大5年間実習していただいた上で習得した技能を本国で生かしてもらった上で技能実習、介護福祉士の資格を取得すれば業務に従事することができる在留資格介護ビザ、2国間の経済連携の強化という観点で受け入れているEPAの三種類のルートがあります。

養護施設入学者に修学金を貸付け、卒業後5年間同一都道府県内の介護の仕事に従事すれば返済を全額免除する新制度も、平成29年度補正予算に含まれています。

さらに、介護福祉士を目指す外国人留学生等に対して、相談支援等のフォローアップの体制整備も行われます。介護施設の方で学費等を出した場合、国が1/3を補助し、留学生と受入介護施設等とのマッチング支援事業を行います。これらは平成30年度予算案に含まれています。

また、養成施設ルート以外にも実務経験ルートで介護福祉士の資格を取得した者にも在留資格「介護」を決定しました。

技能実習制度は、我が国の技能を開発途上地域等へ移転し、その経済発展を担う「人づくり」に寄与するなど、国際協力の推進を目的として創設された制度であり、現在全国に約25万人の技能実習生が在留しています。

技能実習法は、制度の適正な実施と実習生の保護を図りつつ、制度が国内の人手不足を補うための安価な労働力確保策として使われることのないよう、技能修得のために整備され、かつ実習生が実習に専念できる環境で行われるべきこと、労働力の需給調整の手段として活用されてはならないことといったことを基本理念とし、これらを担保するため、

- ① 監理団体を主務大臣による許可制としたこと
- ② 技能実習計画を実習生毎の認定制としたこと
- ③ 外国人技能実習機構を設立、監理団体、実習実施者に実地検査の体制整備を図ったこと
- ④ 技能等を修得させる能力が高い実習実施者や監理団体に対する実習期間の延長(5年目まで)や受入れ人数枠の拡大といった優遇措置

などを設けています。

技能実習制度に関わる全ての関係者の方々が、技能実習法に基づく新たな制度体系の下で、国際協力の推進という制度趣旨を、改めて正しく認識し、適正に活用されていくことを期待しています。

今後共、皆様とともに、本制度の発展と適切な運用に尽力して参りますので、何なりとご意見ご質問をお寄せください。

日越介護人材育成研究会 代表幹事 (参議院議員)
片山さつき